

Marshall

報道関係者各位

2026年5月28日

Marshall Group AB

**Marshall、ジミ・ヘンドリックスの精神を継承する特別ステージで  
『GREENROOM FESTIVAL'26』を熱狂の渦に！  
特別ステージ&体験ブースの事後レポートを公開  
長岡亮介、おとぼけビ〜バ〜、GEZANらが圧巻のパフォーマンスを披露！**



Marshall Group（本社：スウェーデン・ストックホルム、代表：Jeremy de Maillard、以下 Marshall）は、2026年5月23日（土）～24日（日）に横浜赤レンガ倉庫で開催された『GREENROOM FESTIVAL'26』に協賛し、特別なコラボレーションステージ「Marshall 特別ステージ」および「Marshall ブース」を展開いたしました。ジミ・ヘンドリックス初の Marshall アンプ使用から 60 周年を記念した限定コレクションの発表とともに、多くの音楽ファンを魅了した 2 日間の模様をレポートします。

## ■ ジミ・ヘンドリックスのロック精神を継承する「Marshall 特別ステージ」

Red Brick エリアに登場した「Marshall 特別ステージ」では、ジミ・ヘンドリックスと Marshall の 60 年にわたる軌跡を祝う特別な装飾が施され、次世代を担う注目アーティストたちが登場しました。

初日に登場した長岡亮介氏は、自身のバンド「ペトロールズ」の「雨」などを披露したほか、ジミ・ヘンドリックスの名曲「The Wind Cries Mary」と「Manic Depression」を演奏。特に「Manic Depression」については「三拍子の曲として世界で一番かっこいいと思っている」と述べ、彷彿とさせるブルージーかつエッジの効いた即興ギターソロを織り交ぜました。曲の終盤ではギターを背中に回して演奏する、ジミ・ヘンドリックスの伝説的なパフォーマンス「背中弾き」を披露。集まった観客はその圧倒的な演奏に大きな歓声を送りました。

同日最後のステージを飾ったおとぼけビ〜バ〜は、今回も高速パンクロックにサイケデリックなエッセンスを加えた爆発的なパフォーマンスを展開。24 曲を披露し、国内外から集まったオーディエンスを圧倒しました。ギターのおよよしえ氏は、ジミ・ヘンドリックスを彷彿とさせる“歯ギター”も披露。さらに、ユーモアあふれる MC で観客の笑いを誘い、終始熱気に包まれたステージとなりました。



2 日間の熱狂を締めくくる大トリとして、ラストステージに降臨した GEZAN。民謡の響きと共に姿を現すと、瞬時にして会場の空気を支配し、鋭く研ぎ澄まされたサウンドと剥き出しのエネルギーで、観客を一気に引き込みました。



楽曲を追うごとに熱気はさらに増し、フロアでは拳を高く上げ、全身で音を浴びる観客の姿が広がりました。圧倒的な熱量で会場全体を大きな熱狂の渦へと導き、フェスの終幕にふさわしい、強烈で忘れがたい余韻を残しました。

#### ■ 日本最速体験も！新製品とジミ・ヘンドリックス限定モデルが並ぶ「Marshall ブース」

Surf Market エリアに設置された Marshall ブースでは、5月13日より随時発売が開始されたジミ・ヘンドリックス コラボレーション製品（「Acton III」、「1959 JMH Half Stack」、DUNLOP 限定版「Fuzz Face® Pedal」）が展示され、その宇宙を思わせる壮大なデザインと圧倒的な存在感に、オールドロックファンから若者まで多くの来場者が足を止めました。ブース内では、来場者がギターを演奏し、ジミ・ヘンドリックスのスピリットに思いを重ねるように楽しむ姿も多く見られました。

さらに、人気ヘッドホン「Major V」に加え、日本国内でいち早く新製品「Milton A.N.C」を体験できる試聴コーナーには、両日とも開場直後から長蛇の列が。2日間を通して、多くの来場者が最新サウンドを体感しました。試聴した来場者からは、「従来モデルを遥かに凌駕する解像度と、Marshallらしい深く響く重低音に圧倒された」「洗練されたデザインも魅力的で、すぐにでも手に入れたくなった」といった声が寄せられ、音質・デザインの両面で高い注目を集めました。

## ■フェスファッションを彩った WEIRDCORE デザインのオリジナルスカーフ

フェスティバルをさらに鮮やかに彩る施策として実施された、「Marshall×Greenroom×WEIRDCORE オリジナルスカーフ」のプレゼントキャンペーンも、高い注目を集めました。グラミー賞受賞ミュージシャンのアートワークを手掛けるイギリス人クリエイター、WEIRDCORE 氏がデザインしたスカーフは、ジミ・ヘンドリックスらにインスパイアされたサイケデリックかつモダンなアートワークが特徴。会場内では、手に入れたスカーフを首やバッグ、頭に巻き、フェスファッションのアクセントとして楽しむ来場者の姿が数多く見られ、Marshall の持つストリートカルチャーを象徴するシーンとなりました。

## ■ Marshall Group について

Marshall Group は、オーディオ、テクノロジー、デザイン分野で革新を生み出し、ミュージシャンと音楽ファンをつなぐグローバルブランドです。主カブランドである Marshall は、60 年以上にわたり、ライブステージから自宅、外出先に至るまでロックンロールの精神を体現し続け、唯一無二の存在として確固たる地位を築いてきました。世界 90 以上の国と地域で展開される Marshall の製品は、約 800 名の情熱あるスタッフによって開発・提供されており、音楽とともに生きるすべての人に向けて、進化し続けています。

## ■ Marshall Amplify について

Marshall Amplify は、グラスルーツの音楽シーンを支援する Marshall の取り組みです。このイニシアチブを通じて、Marshall はインディペンデントなライブハウスをはじめとする音楽の現場を支援するため、marshall.com でのメンバーシップ購入金額の 1%相当額を寄付しています。詳細については [marshall.com/amplify](https://marshall.com/amplify) をご覧ください。